

省庁名：総務省

施策パッケージ名：⑦早期診断・治療を可能とする技術、医薬品、機器の開発

施策名：3次元映像技術、超臨場感コミュニケーション技術の要素技術及び医療への応用のためのシステム化技術の研究開発

概算要求額：1040百万円(平成23年度)

真にリアルで、人間に優しいコミュニケーションが可能な眼鏡なし3次元映像技術を、立体音響技術、触覚等の感覚伝達技術等の超臨場感コミュニケーション技術と一体的に研究開発し、医療等における実用ニーズを踏まえた新たな映像通信サービスの実現に資する。



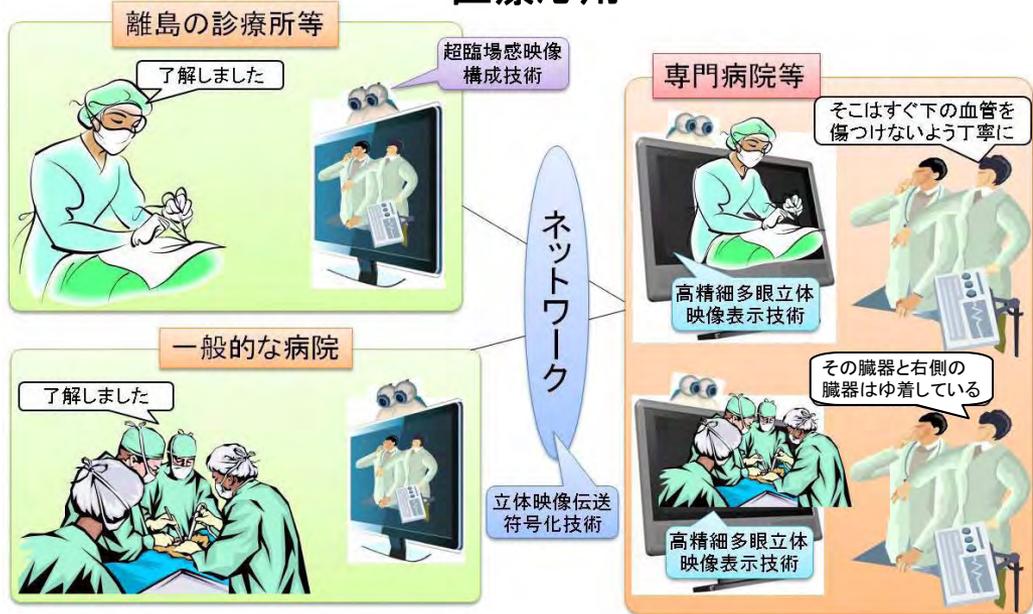
眼鏡なし大画面  
3次元映像技術



電子ホログラフィ技術



### 医療応用

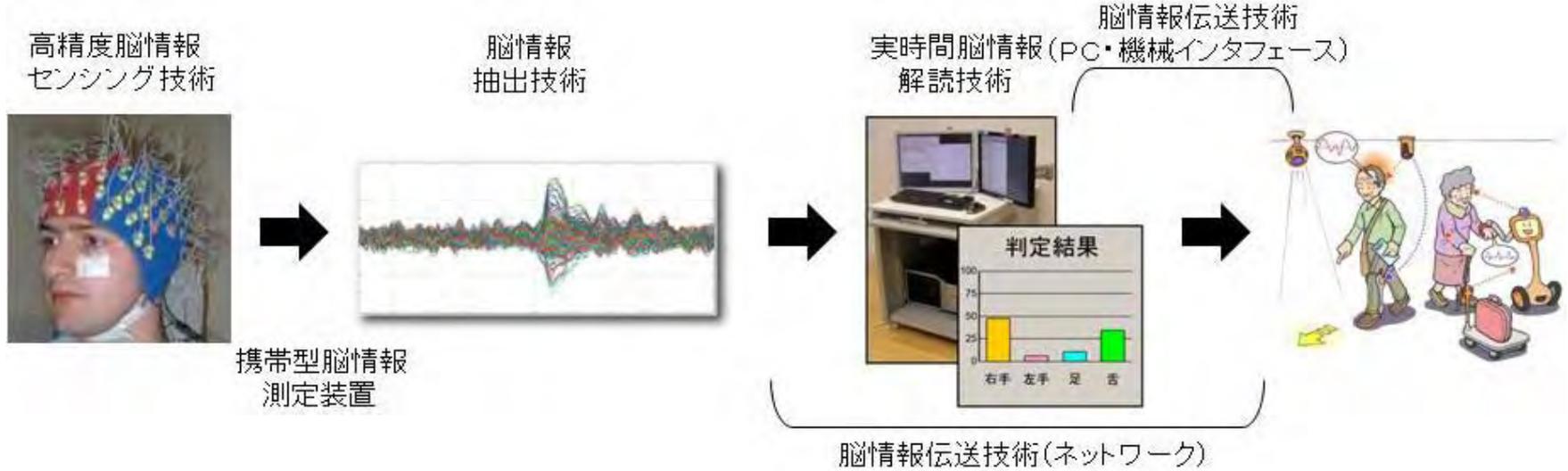


### テレワーク／遠隔会議



省庁名：総務省  
 施策パッケージ名：⑧高齢者・障がい者の生活支援技術の開発  
 施策名：脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発  
 概算要求額：2046百万円(内特別枠要望分2046百万円)(平成23年度)

**現在限られた場所でのみ使用可能なBMI技術を、ネットワークを介すことで日常生活においても適用されるために必要な研究開発等、脳科学の知見をICTに応用し、高齢者・障がい者（チャレンジド）の社会参加の拡大等のイノベーションを創成する脳情報通信基盤技術の研究開発を行う。**



省庁名：総務省  
 施策パッケージ名：⑧高齢者・障がい者の生活支援技術の開発  
 施策名：ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発  
 概算要求額：750百万円(内特別枠要望分750百万円)(平成23年度)

新成長戦略「ライフ・イノベーションによる健康大国戦略」の一環として、高齢者・障がい者自立社会（「自立した生活を過ごせる」）の実現に役立つ科学・技術を開発し、「心身ともに健やかで長寿を迎えたい」という人類共通の願いを実現すべく、2015年以降、見守り、生活・介護支援、ヘルスケア等に利用可能なネットワークロボットサービスの段階的な実用化を目指す。

